

挑戦・失敗・粘り・充実感！

今年のノーベル化学賞を受賞された北川進さんに関連する記事が載っていました。

・・・略・・・実は別の素材の研究で、偶然生まれた役立ちそうな失敗作が基になったという。・・・略・・・歴代の化学賞受賞者も失敗にまみれてきた。島津製作所の田中耕一さんは、混ぜるつもりのない溶液をある物質に落とした間違いが転機に。「失敗から必ず新しい発見がある。・・・略」・・・吉野彰さんは「無駄なことをたくさんしないと新しいことは生まれてこない」と述べている。・・・略・・・大事なのは興味を持って挑戦する姿勢か。失敗はその原動力なのだろう。・・・略・・・北川さんは自分が面白いと思うことに突っ走り、うまくいかないことがよくあるらしい。・・・略・・・大事なのは興味を持って挑戦する姿勢か。失敗はその原動力なのだろう。

（中国新聞「令和七年十月九日朝刊【天風録】より抜粋」）

この記事を読み、先日全校で挑戦した「本物体験活動」の子供達の姿が思い浮かんできました。丸太を切るのに、うまく切れず、投げ出したいと思った時もあったと思いますが、粘り強く挑戦していると、ふとした瞬間に、「あれっ、軽く切れた。」とリズムに乗って切っているのです。粘り強く挑戦していないと経験できなかったことであり、それが充実感につながったと思います。さあ、いろいろな活動・学びをするのにより季節となってきました。多くのことに挑戦して、時には失敗も経験しながら、粘り強く活動し、最後にはよい充実感のあるゴールにたどり着くように取組を進めてまいります。

校長 田丸 栄